

生物・環境工学専攻
博士後期課程（一般選抜、社会人特別選抜） 入試案内

この入試案内は、令和8(2026)年度東京大学大学院農学生命科学研究科博士後期課程学生募集要項を補足するものである。

< A 日程 >

1. 出願期間

令和7(2025)年6月18日(水) 10時から6月24日(火) 17時

出願にあたっては、募集要項を熟読すること。

2. 外国語（英語）試験

TOEFL-iBT または TOEFL-iBT Home Edition の公式スコアを提出すること。

詳細は、募集要項「7. 外国語(英語)試験について」を参照のこと。

3. 専門科目試験

出願時に、次の（第1群）及び（第2群）からそれぞれ1科目を選択すること。

（第1群） 1) 農地環境工学、2) 水利環境工学、3) 環境地水学、4) 生物環境工学、
5) 生物機械工学、6) 生物プロセス工学、7) 生物環境情報工学、
8) 生態調和工学、9) エコロジカル・セイフティー学のうち1科目

（第2群） 専門科目の中に基礎的な問いを出題する。

1) 数学、2) 物理学、3) 化学、4) 生物学のうち1科目

試験は対面による筆記形式（日本語で出題）で行う。

※次表に基づいて必要な外国語と専門科目を選択すること。

【一般選抜】

試験科目	本研究科 (正規課程)				本学他研究科 (正規課程)		他大学 大学院 等
	在学中		修了		在学中	修了	
	本専攻	他専攻	本専攻	他専攻			
外国語（英語）	免除	免除	免除	免除	免除	免除	実施
専門科目	免除	免除	免除	免除	実施 *2	実施 *2	実施

*2 在学中の、または修了した研究科により、筆記試験を免除することがある（出願後に通知）。

【社会人特別選抜】

試験科目	本研究科 (正規課程)				本学他研究科 (正規課程)		他大学 大学院 等
	在学中		修了		在学中	修了	
	本専攻	他専攻	本専攻	他専攻			
外国語（英語）	免除	免除	免除	免除	免除	免除	実施
専門科目	免除	免除	免除	免除	実施 *2	実施 *2	実施

*2 在学中の、または修了した研究科により、筆記試験を免除することがある（出願後に通知）。

4. 口述試験

対面またはオンラインによる口述試験を実施する。日時その他の詳細は受験者心得等で通知する。

5. 試験期日

試験科目	日 時	試験会場
筆記試験 専門科目	令和 7（2025）年 8 月 7 日（木） 13:30～15:30	受験者心得で通知する。
口述試験	令和7(2025)年 8 月7日（木） ～ 8 月22日（金）の指定する 1 日 ※詳細は受験者心得で通知する。	

（注）試験時間は変更される可能性がある。

6. 提出書類

提出書類は、募集要項「10. 提出書類」に従い、ア～スを提出すること。

7. 10 月入学

本専攻は 10 月入学を実施しない。

8. その他

(1) 令和 8 (2026) 年 3 月修了予定の本研究科在籍者は A 日程には出願できない。

(2) Web 出願システム入力の際の注意事項

①指定された欄をすべて入力すること。未入力の欄がある場合は、出願書類不備として取り扱う。

②志望専門分野及び志望指導教員欄は、募集要項「教員並びに専門分野一覧」を参照のうえ専門分野と教員名を入力すること。

なお、異動等に伴い教員名等の記載事項に変更が生じた場合は、募集要項「教員並びに専門分野一覧」を更新するので、出願前に最新版を確認すること。

③試験科目欄に選択する科目名を必ず入力すること。

④履歴事項は修士課程修了（見込み）までを入力すること。また、社会人特別選抜出願者は職歴を入力すること。

- ⑤学歴について、飛び級等の学歴がある場合または日本以外の国での教育歴がある場合は出願前に入力方法を農学生命科学研究科教務課学生支援チーム大学院学生担当（募集要項「14. 問合せ・連絡先」参照）へ問い合わせること。
- (3) 研究テーマのマッチング等を確認するために、出願前に余裕を持って志望指導教員へ連絡を取る。
- (4) 過去問題は、本研究科学生サービスセンターにて閲覧することができる。
- (5) 本専攻の入学試験に関する不明な点は、生物・環境工学専攻（募集要項「各専攻のお問い合わせ先」参照）に問い合わせること。
- (6) 本研究科の入学試験については、募集要項及び本入試案内を熟読すること。出願にあたり不明な点は、予め農学生命科学研究科教務課学生支援チーム大学院学生担当（募集要項「14. 問合せ・連絡先」参照）まで、余裕を持って問い合わせること。

<B 日程>

1. 出願期間

令和 7 (2025)年 11 月 20 日 (木) 10 時から 11 月 26 日 (水) 17 時

出願にあたっては、募集要項を熟読すること。

2. 外国語 (英語) 試験

TOEFL-iBT または TOEFL-iBT Home Edition の公式スコアを提出すること。

詳細は、募集要項「7. 外国語(英語)試験について」を参照のこと。

3. 専門科目試験

出願時に、次の (第 1 群) 及び (第 2 群) からそれぞれ 1 科目を選択すること。

(第 1 群) 1) 農地環境工学、2) 水利環境工学、3) 環境地水学、4) 生物環境工学、
5) 生物機械工学、6) 生物プロセス工学、7) 生物環境情報工学、
8) 生態調和工学、9) エコロジカル・セイフティー学のうち 1 科目

(第 2 群) 専門科目の中に基礎的な問いを出題する。

1) 数学、2) 物理学、3) 化学、4) 生物学のうち 1 科目

試験は対面による筆記形式 (日英併記で出題) で行う。

※次表に基づいて必要な外国語と専門科目を選択すること。

【一般選抜】

試験科目	本研究科 (正規課程)				本学他研究科 (正規課程)		他大学 大学院 等
	在学中		修了		在学中	修了	
	本専攻	他専攻	本専攻	他専攻			
外国語（英語）	免除	免除	免除	免除	免除	免除	実施
専門科目	免除	免除	免除	免除	実施 *2	実施 *2	実施

*2 在学中の、または修了した研究科により、筆記試験を免除することがある (出願後に通知)。

【社会人特別選抜】

試験科目	本研究科 (正規課程)				本学他研究科 (正規課程)		他大学 大学院 等
	在学中		修了		在学中	修了	
	本専攻	他専攻	本専攻	他専攻			
外国語（英語）	免除	免除	免除	免除	免除	免除	実施
専門科目	免除	免除	免除	免除	実施 *2	実施 *2	実施

*2 在学中の、または修了した研究科により、筆記試験を免除することがある (出願後に通知)。

4. 口述試験

対面またはオンラインによる口述試験を実施する。日時その他の詳細は受験者心得等で通知する。

5. 試験期日

令和 8 (2026) 年 1 月 29 日 (木) ～ 2 月 6 日 (金) のいずれか 2 日間で実施する。

試験日時その他の詳細は、令和 8 (2026) 年 1 月上旬にメールで送付する受験者心得で通知する。

6. 提出書類

提出書類は、募集要項「10. 提出書類」に従い、ア～スを提出すること。

7. 10 月入学

本専攻は 10 月入学を実施しない。

8. その他

(1) 令和 8 (2026) 年 3 月修了予定の本研究科在籍者は B 日程に出願すること。

(2) Web 出願システム入力の際の注意事項

①指定された欄をすべて入力すること。未入力の欄がある場合は、出願書類不備として取り扱う。

②志望専門分野及び志望指導教員欄は、募集要項「教員並びに専門分野一覧」を参照のうえ専門分野と教員名を入力すること。

なお、異動等に伴い教員名等の記載事項に変更が生じた場合は、募集要項「教員並びに専門分野一覧」を更新するので、出願前に最新版を確認すること。

③試験科目欄に選択する科目名を必ず入力すること。

④履歴事項は修士課程修了(見込み)までを入力すること。また、社会人特別選抜出願者は職歴を入力すること。

⑤学歴について、飛び級等の学歴がある場合または日本以外の国での教育歴がある場合は出願前に入力方法を農学生命科学研究科教務課学生支援チーム大学院学生担当(募集要項「14. 問合せ・連絡先」参照)へ問い合わせること。

(3) 研究テーマのマッチング等を確認するために、出願前に余裕を持って志望指導教員へ連絡を取る。

(4) 過去問題は、本研究科学生サービスセンターにて閲覧することができる。

(5) 本専攻の入学試験に関する不明な点は、生物・環境工学専攻(募集要項「各専攻のお問い合わせ先」参照)に問い合わせること。

(6) 本研究科の入学試験については、募集要項及び本入試案内を熟読すること。出願にあたり不明な点は、予め農学生命科学研究科教務課学生支援チーム大学院学生担当(募集要項「14. 問合せ・連絡先」参照)まで、余裕を持って問い合わせること。